

◆開催日
令和8年
5月3日(日・祝)
14時開演(13時15分開場)

◆会場
川崎市麻生市民館大ホール
(小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分)

人間国宝の競演

◆解説
馬場あき子

◆狂言
花子
山本東次郎

◆能
鬼界島
友枝 昭世

◆アフタートーク
馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世



能「鬼界島」友枝昭世
(撮影:あびこ写真店)



狂言「花子」山本東次郎
(撮影:亀田邦平)

■チケット発売 ①先行発売(インターネットのみ) 1月16日(金)10:00~1月22日(木)23:59
※会員登録(無料)が必要です
②一般発売 1月23日(金)9:00より

■料金【全席指定】SS席 7,000円 S席 6,000円 A席 5,000円
U25割(S席) 2,500円 U25割(A席) 2,000円

※U25割:未就学児を除く25歳以下の方。S席・A席エリアのみ選択可。来場時に生年月日のわかる身分証明書提示。

■販売方法

アルテリッカは、ジャンルを超えた芸術の祭典!

インターネット

アルテリッカしんゆり公式ホームページ(24時間対応)
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

電話予約

しんゆりチケットセンター

TEL. **044-959-2255**

(9:00~19:30)

※毎月第2曜日の施設点検日を除く

窓口販売 (A、B、C、D/地図参照)

A しんゆりチケットセンター (川崎市アートセンター内)
(9:00~19:30) ※毎月第2曜日の施設点検日を除く

B 新百合トウェンティワンホール (10:00~17:00)

C 昭和音楽大学チケットセンター (昭和音楽大学南校舎内)
(10:00~12:00/13:00~18:00) ※土・日・祝を除く

D マイタウンチケットセンター マブレ専門店街「写真工房 彩」内
(平日9:00~19:00/土・日・祝10:00~19:00)



▲詳細ページ



主催:公益財団法人川崎市文化財団 共催:川崎・しんゆり芸術祭実行委員会 川崎市 川崎市教育委員会
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会 NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム



解説 馬場あき子

狂言 花子

シテ 夫 山本東次郎

アド 太郎冠者 山本凜太郎
アド 表 山本 則重

休憩（二十分）

ツレ 平判官康頼 佐藤 陽
ツレ 丹波少将成経 佐藤 寛泰

シテ 俊寛僧都 友枝 昭世

能 鬼界島

ワキ 赦免使 宝生 欣哉

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 森澤 勇司

笛 藤田 貴寛

アイ 船頭 山本 則秀

後見 中村 邦生
友枝 雄人

地謡 狩野 祐一 金子敬一郎
内田 真也 長島 茂
谷 成信 香川 靖嗣
友矩 狩野 了一

◆アフタートーク 馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世

●あらすじ

狂言 花子【はなこ】

洛外に住む男は、旅先で出会った遊女の花子と馴染みになります。その花子が上京し、会いたいという手紙を送ってくるので、何とかして会いにきたいのですが、妻がなかなかそばを離れたがりません。男は妻に、持仏堂で一晚座禅をするという何とか承知させ、太郎冠者に座禅衾をかぶせ身代わりにして花子のもとへ向かいます。様子を見に来た妻が太郎冠者との入れ替わりに気づき激怒し、今度は太郎冠者を入れ替わって夫の帰りを待ち伏せます。そうとは知らず朝帰りの男は、夢見心地で昨夜の様子を語りますが…。

能 鬼界島【きかいがしま】

平家討伐の陰謀が発覚して、俊寛僧都、平判官康頼、丹波少将成経の三人は九州薩摩湯の鬼界ヶ島に流されます。その後、中宮御安産の祈祷のため、大赦が行われ、康頼・成経の二人だけが赦されることになり、その赦免使が都を発ちます。

俊寛と康頼、成経が、谷の水を酒にみだて互いに酌み交わし、昔の栄華をしのび今の境遇を嘆いていたところへ、赦免使が到着します。俊寛は赦免状を康頼に読ませますが、自分の名がありません。俊寛は、同じ罪のはずなのになぜ自分だけが赦されないのかと悲しみに沈みます。せめて向かいの地まで船に乗せてくれと哀願しますが、船頭はそれを押切り、康頼と成経を乗せて船出してしまいます。絶望した俊寛は船影の見えなくなるまで渚に立ち尽くします。

プロフィール

山本東次郎（やまもと とうじろう）●能楽師 大蔵流 狂言方



- 1937年5月5日生まれ。山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年／芸術祭奨励賞受賞
- 1992年／芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年／第16回親世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年／紫綬褒章受章
- 2001年／エクソンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年／日本芸術院賞受賞
- 2012年／重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2017年／日本芸術院会員に就任
- 2022年／旭日中綬章受章。文化功労者顕彰。
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長
- 著書 「狂言のすめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往来社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

友枝 昭世（ともえだ あきよ）●能楽師 喜多流 シテ方



- 1940年3月24日生まれ。肥後熊本・加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年／能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多実氏に師事
- 1978年／第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1994年／第16回親世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1995年／第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1996年／「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
- 2000年／春の紫綬褒章受章
- 2003年／日本芸術院賞受賞
- 2004年／伝統文化ボーラ賞大賞受賞
- 2008年／重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2011年／日本芸術院会員に就任
- 2020年／旭日中綬章受章
- 喜多流宗家預り

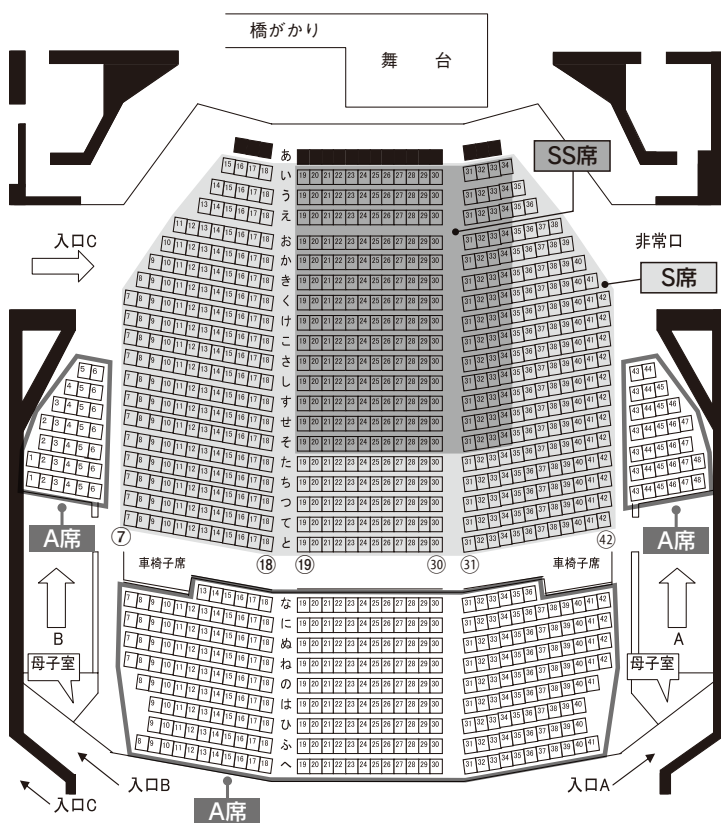
馬場 あき子（ばば あきこ）●歌人



日本を代表する歌人。歌誌「かりん」発行人。古典や能に対する造詣も深く、喜多実入門。新作能の制作も行い、「影媛」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。文化功労者、旭日中綬章受章(2021年)、日本芸術院会員、前朝日歌壇選者ほか。

「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは 川崎市麻生市民館座席表

検索